

募集要項

論文審査について

投稿論文の採否は編集委員会で決定いたします。審査の結果、原稿の一部改正、または訂正を求めることがあります。
なお、筆頭著者は日本脊髄外科学会会員であることが原則となっておりますので、非会員の方は入会手続きを行ってください。

募集論文の種類について

論文掲載形式は、原著、総説、症例報告、Technical Note といたします。

論文種類	原稿枚数 (400字換算)	刷上がり
原著	30枚	6頁
総説	30枚	6頁
症例報告	25枚	5頁
テクニカルノート	20枚	4頁

*原稿枚数には英文抄録、文献、図、表、図説を含む。

論文の送付内容について

投稿申請書および連絡票

*本誌掲載のものまたは学会ホームページ (<http://square.umin.ac.jp/jsss-hp>) よりダウンロードして使用ください。

論文原稿：1部

*表紙、英文抄録、本文、文献、図表の説明を含む。

図・表：1組

*写真は必ず original (写真以外は copy で可、図版は A4 判大の用紙に貼付のこと)

郵送のほか、メールでのデータ投稿も受け付けます。その際は投稿申請書および連絡票は PDF 形式、図・写真は JPEG 形式で送信ください。

また、一度に送信するデータ容量が 3 MB を越える際は複数回にわけて送信ください。

掲載済原稿について

原稿：原則として返却しません。

スライド：必ず返却します。

図・表：返却ご希望の場合は、その旨をあらかじめお知らせください。

執筆要項

原稿の体裁について

- 原稿サイズは A4 判を用いてください。
- 原稿は「表紙→英文抄録→本文→文献→図・表の説明文」の順とし、必ず英文抄録から通しナンバーを入れてください。
- 表紙には、以下のデータを記してください。
 - ①論文タイトル ②著者名 ③所属 ④連絡先 (和語表記) ⑤key words 5個以内 (英語またはラテン語)

記述・用語について

- 専門用語以外は常用漢字、現代かなづかいを用いてください。
なお、脳神経外科関係の医学用語については『脳神経外科学用語集 改訂第2版』(日本脳神経外科学会用語委員会編、南江堂)、神経内科関係の医学用語については『神経学用語集 改訂第2版』(日本神経学会用語委員会編、文光堂)を参照してください。
- 文献、人名、薬品名、地名は原語を用いてください。
- 略語は文中で“慣例的に用いられている略語”のみとし、初出箇所ですべて full-term をご記入ください。
- 数字は算用数字を用い、度量衡の単位は CGS 単位で、m, cm, mm, cm², l, dl, kg, g, mg, ng, hr, min, sec, msec などとしてください。髄液細胞数は/mm³もしくは/μl と表します。脊椎のレベルについて述べる場合には、C4, C5, C6 あるいは C4-6 という表記にしてください。椎間腔について述べる場合には、C4-5, C5-6 あるいは C4/5, C5/6 という表記にしてください。胸椎は T, 腰椎は L という表記とし、頸椎に準じます。

論文の構成について

- 英文抄録 (abstract) は必ず添えてください。形式は本誌掲載時と同様、表題、著者名、所属を明記し、内容は、目的、方法、結果、結論を簡潔明瞭に示し、新しく重要な知見を明らかにしてください。分量は 250~400 語とします。また、最後に key word も付してください。key words は 5 個以内 (Index Medicus または Journal of Neurosurgery に則って英語またはラテン語で指定) とします。
- 本文は多くの場合、「緒言 (はじめに)」、「材料と方法・症例」、「結果 (または症例のまとめ)」、「および「考察」から構成されます。

【緒言】研究の目的、研究を行う理由、その背景を簡潔に述べてください。

【方法・症例】すでに発表されている場合には詳述は避けるが、最小限の情報は提供するようにしてください。

【結果】簡潔に記述してください。

【考察】新たな知見を強調し意味付けを行うが、方法・結果に述べてある詳しい情報は繰り返さないでください。

- 研究費交付および謝辞などは、本文の末尾に表記してください。

文献について

- 文献は、初出順に番号を付けてください。本文の該当箇所には、文献番号をカッコ付きで示してください。以下に文献の記載法を記しますので、これらの例に沿って文献を入力してください。[雑誌の場合]
著者名 (3名まで): 題名、誌名 巻: 頁 (初めと終わりの頁)、発行年 (西暦)

【例】

- Mizuno J, Nakagawa H, Inoue T, et al: Clinicopathological study of “snake-eye appearance” in compressive myelopathy of the cervical spinal cord. *J Neurosurg (spine2)* **99**: 162-168, 2003
- 高橋敏行, 富永倂二, 横堀寿光, 他: Cervical interbody fusion cage (CIF) によるヤギ屍体頸椎前方固定の生体力学的検討. *脊髄外科* **15**: 1-6, 2001

【書籍の場合】

著者名 (3名まで): 書名、発行地、発行所、発行年 (西暦)、頁 (初めと終わりの頁)

【例】

- Nakagawa H, Mizuno J: Threaded interbody cage fixation for cervical spondylosis and ossification of the posterior longitudinal ligament. in Bensek EC (ed): *Spine Surgery: Techniques, Complication Avoidance and Management (2nd edition)*, Philadelphia, Elsevier Churchill Livingstone, 2005, pp363-369
- 宮坂和男: 脊髄造影. 阿部 弘編: 脊髄の外科. 東京, 医学書院, 1990, pp53-69

図・表および写真について

- 図・表の説明 (図、写真には説明文を、表には表題) をそれぞれ英文で付けてください。
- 図・表は、プリントアウトとデータの両方をお送りください。
 - 図・表はすべて A4 判用紙に記入または貼付し、本文中に挿入箇所を指定してください。表は Table 1, Table 2..., 図は Fig. 1, Fig. 2... と番号を付けてください。図・表の説明 (図、写真には説明文、表には表題) をそれぞれ英文で付けてください。説明は文献の後ろにまとめて記載し、図表の台紙には Table No., Fig. No. のみ記載してください。
 - 写真について、紙焼きを台紙に貼る形式、各種画像プレゼンテーション・ソフトで作製したデータのプリントアウトなど、特に決まりはありませんが、鮮明な画像で論文審査ができるよう御配慮ください。

- ・写真の説明として写真上に矢印や符号を記入したい場合は、写真にトレーシングペーパーをかけ、その上に必要事項を鉛筆で記入してください。各種画像プレゼンテーション・ソフトのデータ上に必要事項を入れ、それをプリントアウトする形でも結構です。
 - ・図表の天地がわかりにくいものは、台紙の余白部分に矢印を入れて天地を明確に示してください。
3. 被写体の人格権に留意してください。
 4. 光学顕微鏡写真には、染色法と撮影時の倍率を入れてください。
 5. 電子顕微鏡写真には、倍率を示すバーを記入してください。
 6. CT、MRIなどのneuro-imagingにおける軸状断ではview from feet、すなわち患者の右側が向かって左側としてプリントしてください。冠状断では、患者の右側が写真の左側としてください。血管撮影所見やMRIを含む側面像では、右側のそれは患者の鼻が右側へ、左側のそれは患者の鼻が写真の左側になるようプリントしてください。
 7. カラー写真で掲載を希望される場合には、その旨申し出てください。著者の実費負担となります。
 8. 図・表を他誌から引用する場合、著作権規定に従った引用許可は著者が取ってください。

著者校正について

- 1 回のみ行います。

Extended Abstract の投稿および執筆要項

* 論文概要としてExtended Abstractの投稿を受け付けます。full paperで発表する前の先行発表、また他誌にfull paperで掲載されている内容の紹介ができます。

執筆分量

400 字詰原稿用紙 14 枚以内（仕上り・4 頁以内）

* 上記制限に文献、図表(3点以内、なくても可/1点400字換算)、図説を含む。

論文審査について

座長推薦論文に関しては、原則審査はありませんが、編集委員会より原稿の一部改正、または訂正を求めることがあります。一般投稿論文については審査いたします。

原稿の体裁

上記執筆要項に準じます。

なお、abstract（英文抄録）、key word、文献は本形式では不要とします。

記述言語

本文の使用言語は日本語のみとします。ただし、①専門用語、②原語で記載すべき箇所、③図説および図表内使用文字については英語で記述することとします。

本文の構成

本形式は論文概要であり、full paper に対する導入、前書きではありません。full paper に準じる形で目的、方法、結果、考察などを明瞭かつ簡潔にまとめてください。

なお、研究費交付および謝辞などは、本文の末尾に表記してください。

【重要】

このほか、本形式はその性質上、以下の場合が想定されますのでご留意のうえ適宜ご対応ください。

1. すでに他誌にfull paperが掲載されている、あるいは掲載が決定している論文をExtended Abstractとして投稿する場合：

別刷について

別刷は30部まで無料です。別刷不要の方はその旨申し出てください。30部以上の別刷希望の方は別途申し出てください。50部単位で有料作製します。

著作権、出版権について

1. 他の雑誌、単行本の図・表などをそのまま、もしくは修正を加えて引用するときは、著作権規定に照らした引用許可を得ることが必要です。その際、出典を明らかにし、引用許可を受けていることを図、表の説明に英文で明記してください。また、出版社や著者から得た許可証を原稿に添えて提出してください。
2. 本誌に掲載された論文（figure と table を含む）の著作権と出版権は、一般社団法人日本脊髄外科学会に帰属します。

利益相反開示について

論文の末尾に「利益相反開示」として、その有無ならびに自己申告情報をまとめて記載ください。日本脊髄外科学会 HP の＜定款・規則等＞のページより「医学研究のCOI（利益相反）に関する細則」をご覧ください。掲載されている条件に照らしてご記載ください。なお、以下の2点の細則が2015年度より変更になっておりますのでご注意ください。

- 1) 申告・開示の対象期間が1年から3年に変更されています。
- 2) 臨床研究のCOI、データ、議事録を研究終了報告から5年間保存（細則第4条に追記）に変更されています。

・すでに他誌に掲載されている、あるいは掲載が決定しているfull paperが存在する旨を脚注として明記させていただきますので、投稿の際に、①共著者名、②論文タイトル、③誌名、④巻数、⑤発刊年、⑥頁数を明示し、該当箇所のコピーを同封してください。

・先行刊行物の著作権保持者に自著の二次刊行物として、他誌掲載許可をお取りください。

・図表の再使用については、上記許可がとれた場合のみ再使用可能とします。その際は出典箇所（筆頭著者名、発刊年）を明示してください。

2. 将来他誌にfull paperとして投稿する場合：

・図表についてはfull paperへの掲載を優先いただくか、まったく同一のものにならないよう適宜ご対応ください。

別刷について

基本的小作りいたしません。別刷り希望の方はその旨申し出てください。50部単位で有料作製します。

その他の要項については上記執筆要項に準じます。

原稿送付先

郵送での投稿

〒113-0033

東京都文京区本郷6-17-9 本郷網ビル

(株)三輪書店 気付

日本脊髄外科学会機関誌

『脊髄外科 SPINAL SURGERY』編集局分室

TEL 03-3816-7796 FAX 03-3816-7756

メールでの投稿

E-mail : jsss-annex@miwapubl.com

「脊髄外科」投稿申請書

(コピーないし学会ホームページよりダウンロード可)

下記の論文を日本脊髄外科学会機関誌「脊髄外科」に投稿いたします。なお、他誌への類似論文の投稿はいたしません。

論文題名：

ご所属

ご署名

筆頭著者：

共著者：

提出年月日：

年 月 日 提出

「脊髄外科」連絡票 受付No.:

和文：

表題：

著者：

所属：

英文：

表題：

著者：

所属：

掲載希望 (いずれかに○を付けて下さい)：

原著

総説

症例報告

Technical Note

Extended Abstract

論文内容：本文

ページ

／ 文献・抄録・図表説明

ページ

図

点 / 表

点 /

写真・図・表の返却：

希望する

希望しない

原稿校正者氏名：

E-mail：

住所：

電話：

FAX：